

令和五年

喜

多

流

涌

泉

能

京都府次世代等古典芸能普及促進公演

主催 高吟会

猩々乱

高林昌司

独吟木賊

高林白牛口二

萩大名

茂山七五三

求塚

高林呻二

高林白牛口二米寿
高林呻二還暦

記念公演

第九十八回

令和五年十一月十一日(土) 十三時始

大江能楽堂

京都市中京区押小路通柳馬場東入ル 電話 075-231-7620

入場料 前売 7,000円 学生券 3,000円

当日 8,000円 全席自由席

問合先 〒603-8354 京都市北区等持院西町15 高吟会

電話075-462-1490 FAX.075-463-3494

E-mail koginkai@ares.eonet.ne.jp

URL <http://www.eonet.ne.jp/~koginkai/>



地下鉄「烏丸御池」または「京都市役所前」下車。徒歩約10分。

動 静 以 天 地
視 哉 涌 泉 美
鈿 之 翁

涌 泉 能 番 組

狩 野 祐 一
佐 藤 陽

高 林 呻 二

求 塚

中 村 宣 成
福 王 和 幸
喜 多 雅 人
茂 山 逸 平
大 河 村
大 倉 源 次 郎
森 田 保 美

休憩二十分

萩 大 名
茂 山 七 五 三
鈴 木 実
網 谷 正 美

独 吟 木 賊
高 林 白 牛 口 二

猩 々 乱
高 林 昌 司
江 崎 欽 次 朗
亀 井 広 忠
成 田 達 志
前 川 光 範
杉 信 太 朗

老境に突入して

高林白牛口二

今年、白牛口二の八十八歳と呻二の六十歳の慶事が重なって記念すべき年となりました。

長く舞台生活をしていると云う事は、言い換えれば老境に入り込んで行く事です。舞台人は晩年の舞台を如何に過ごすかという事を、確りと認識する必要があります。

これは年老いて行く本人だけの問題ではないとも言えますが、矢張り本人の気構えが大事なことです。舞台上に於いて観客に何を訴えるのか。舞台人は最期までこの事を確りと意識していかなくてはなりません。

能の場合は緞帳や引き幕はありませんが、舞台上に姿を現して、一曲を終えて姿が見えなくなるまで、一瞬たりとても「スキが見えてはダメ」と思っただけで済みました。

この年齢による限界は、人それぞれに条件が異なりますので、何歳が限界とは言えません。その限界は當人の舞台人としての認識次第です。自分の体力の老化を感じて後は、色々と考えを巡らせながら、終焉の時期を模索してきました。

その結果、喜寿で「伯母捨」を、八十歳で「江口」を、ケジメとしました。舞台に未練はないと言えはそれは偽りでしよう。そこで何が出来るかと思案して、次の企画として「一曲独吟」と言う新しい世界を展開しました。

東京で一年に二回、十年で二十番を謡う事を始めました。九十歳を目標に企画をしたのですが、喜多能楽堂が改築工事をするために、二年間使用不能となり私の企画もそれに伴い二年間延期となりました。

その後、京都でも謡う事になったのですが、始めた時の目標が東京で二十番でしたので、志を違えぬよう、健康に気を付けて、目標の達成に努力しようと思っています。

次回予告

令和六年四月十三日(土) 十三時始

於 大江能楽堂

一曲独吟 頼 政

高林白牛口二

半 部

高林昌司

主 催

高 吟 会

許可なく写真撮影録音録画は、堅くお断り致します。携帯電話 ポケットベル 時計のアラームは、予めお切り下さい。